

鳥取県元気づくり総合戦略

～ 響かせよう トットリズム ～

- 鳥取県には、都会にはない「豊かな自然」、「人と人との絆」、心豊かな暮らしを実現できる「幸せを感じる時間」があります。このような強みを中心となる3つの考え方として設定し、地方創生を実現するための指針として「鳥取県元気づくり総合戦略」を平成27年10月に策定しました。
- 地元で活躍する産業界や様々な知識・人材を有する高等教育機関、金融機関、労働団体、NPO法人、報道機関、地方創生の取組の主役となる市町村の皆様と共に、取組を進めていきます。

【目標】 県内から消滅可能性都市をゼロに！

自然減に対する目標

- ① 2030年までに合計特殊出生率を県民の結婚・出産の希望が叶う水準(希望出生率 1.95)まで引き上げる
- ② その後、国の想定より早く合計特殊出生率を人口置換水準(2.07)まで引き上げる

社会減に対する目標

- ① 転出超過を今後5年かけて半減させる
- ② その5年後、転入転出者数を均衡させる

人口ビジョン (自然減・社会減への同時アプローチを進めた場合の鳥取県の姿)

- ◆ **2040年推計人口 48.9万人** (国推計 44.1万人に比べ約5万人増)
- ◆ **2060年推計人口 43.4万人** (国推計 33.4万人に比べ約10万人増)
 - 2080年代には人口が安定する (人口減少が下げ止まり定常状態へ)
 - 早期に人口構造が若返り始める (高齢化率のピーク40%が34%と抑制され、2040年代半ば以降は低下)

元気づくり総合戦略 基本姿勢

豊かな**自然**でのびのび
鳥取らしく生きる

【政策分野】

観光・交流
農林水産業
エコスタイル

人々の**絆**が結ばれた
鳥取のまちに住む

【政策分野】

出会い・子育て
人財とっとり
支え愛

幸せを感じながら
鳥取の**時**を楽しむ

【政策分野】

移住・定住
働く場
まちづくり

戦略期間 2015年度(平成27年度)～2019年度(平成31年度)

地方創生の取組推進 P D C Aサイクルにより毎年度効果を検証

豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる～鳥取+ism～

<基本目標>

- 観光入込客数▶1, 100万人（年間）
- 外国人宿泊客数▶15万人（年間）
- 農林水産業の新規就業者数▶1, 800人（5年間）



観光・交流

多様な観光資源を活かした戦略的観光立県

- 鳥取砂丘、国立公園大山、日本遺産に認定された三徳山・三朝温泉など鳥取を代表する観光地や地域に眠る宝の磨き上げ、着地型メニュー造成や周遊観光ルートづくり
- 自然、歴史、食などと組み合わせた鳥取ならではの温泉地の魅力づくり
- 特別寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」など列車を活用した地域の賑わい創出
- 大山開山 1300 年を契機とした大山ブランドのイメージ形成
- 世界ジオパーク第三期認定に向けた山陰海岸ジオパークの磨き上げ
- 東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致や「ホストタウン」の推進、競技団体等と連携したスポーツイベントや合宿誘致などスポーツコンベンションの推進
 - サイクリングルートの全県展開や全県を横断するロングトレイルの環境整備
 - 生涯スポーツ(グラウンド・ゴルフ、マスターズ陸上など)の推進・ブランド化
 - 「山の日」記念全国大会の開催など、緑豊かな自然やエコツーリズムの県内外への魅力発信と環境整備
 - 星取県など鳥取の認知度を高めるイメージ発信と、性別、地域・国などターゲットを意識した戦略的な情報発信
 - 農山漁村における体験型の教育旅行や企業の研修旅行などの誘致・受入を行う態勢づくり



外国人が憧れる鳥取

- 鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港の「空の駅」化などまんが王国とつとりを満喫する受入環境整備
- 県内発着の国際定期便・定期航路の活用、チャーター飛行機やクルーズ船の誘致による外国人観光客誘客と県内観光消費額の増加
 - 米子香港便(H28.9月運行開始)
- 既存宿泊施設のユニバーサル化などの環境整備、農山漁村型交流民泊等の活用による滞在型の観光地づくり



広域連携による観光誘客の推進

- 山陰広域観光周遊ルート「縁の道～山陰～(Route Romantique San'in)」形成など広域連携を活用した誘客による宿泊者数や観光消費額の増加
- 山陰DMO「山陰インバウンド機構」を中心とした観光地域づくりと圏域DMOの設立や活動の支援
- 関西広域連合、中国5県や民間企業と連携した情報発信・プロモーションの実施による県外主要空港からの外国人観光客誘客
- 他県との連携によるサイクリングルートの整備と活用による国内外からの誘客促進

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
1人当たり観光消費額（県外・日帰）	6,228円 (H23～25平均)	→	7,300円 (H30)
1人当たり観光消費額（県外・宿泊）	24,655円 (H23～25平均)	→	27,000円 (H30)
宿泊者数	250万人	→	280万人 (H30)
主要観光施設の無料公衆無線LANカバー率	72%(H27)	→	90%
空港利用客数	88万人	→	<u>112</u> 万人
消費税免税店舗数	41店舗	→	120店舗
DMO設置数	東・中・西部各1団体 及び山陰圏域1団体		

（備考）下線は平成30年度改訂において上方修正したもの

農林水産業

将来を担う若き担い手の活躍

- 本県独自の技術認証「スーパー農林水産業士」制度の導入による実践的な職業教育の推進
- プロ農家育成を目指す「とっとりアグリ人材育成システム」や農林高校と森林組合等が連携した人材育成システムの構築、水産系学科を有する県内高校と連携した漁業を目指す若者の育成
- 子育て支援や住宅の確保など、就業した若き担い手の定着支援の強化

農林水産業の活力増進

- 園芸・畜産分野の基盤強化や県開発品種の導入推進等による農業所得の向上
- 農業産出額 10 億円以上を目指すエース級園芸品目の育成
- 「白鵬 85 の 3」・「百合白清 2」といった日本一の高能力種雄牛の活用などによる「和牛王国とっとり」復活、酪農基幹牧場(メガファーム)の整備
- CLT 等付加価値の高い木材製品の創出など県産材活用を推進し、「木づかいの国とっとり」を実現
- 食用きのこや薬用きのこ等の新たなきのこ産業の創出、「鳥取茸王」などのブランド化の推進
- 栽培漁業や養殖業による「つくり育てる漁業」推進
- 農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門の「鳥取ナシ育種研究サイト」を通じた梨品種の開発、人材育成及び産地づくり

豊かな食と技術が集積した「とっとりフードバレー」の形成

- 地理的表示保護制度の活用や国際認証の取得促進などによるグローバルマーケットへの展開
- 6次産業化の推進による加工ミッシングリンク解消
- 高品質な農林水産物のトップブランド化による「食のみやこ鳥取県」のブランド力向上
- 岡山県連携によるアンテナショップの活用や共同物流システムの構築など、都市圏への販路拡大

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
農業産出額	679 億円 (H25)	→	<u>800</u> 億円
農業産出額 (10 億円以上の品目数)	8 品目 (H25)	→	10 品目
和牛繁殖雌牛頭数	2,900 頭	→	3,900 頭
木材素材生産量	21 万㎡ (H25)	→	36 万㎡
漁業所得	36 億円 (H25)	→	<u>55</u> 億円
養殖による水揚量	713t (H28)	→	2,500t
農林水産物及び加工品の年間輸出額	4.5 億円 (H25)	→	8 億円
6次産業化事業及び農商工連携事業の取組累計数	161 件	→	280 件

(備考) 下線は平成 30 年度改訂において上方修正したものの

エコスタイル

豊かな森や里山資源の活用

- 子どもたちが鳥取の豊かな自然の恵みを満喫し、“学び、遊びきる”体験を支援
- 豊かな森の持つフレッシュ効果を活かした森林セラピーなど、大自然の中でゆったりとくつろぎを提供できる癒やしの地域づくり
- 半農半Xなど里山における多様なライフスタイルの実現
- 若手狩猟者の育成等による鳥獣捕獲体制の強化や処分、加工、販売に至る一貫したシステムづくりへの支援

次世代エネルギーの推進

- 再生可能エネルギーを活用した「グリーン水素」の供給インフラの整備など「水素社会」の実現に向けた取組促進
- 風力や太陽光をはじめとした多様な発電の推進、新規電力会社立ち上げ支援など再生可能エネルギーの地産地消
- メタンハイドレートをはじめとする海洋資源の調査・開発を行う専門人材の育成及び活用を通じた研究開発及び人材育成の拠点化

森のようちえんの様子



<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
自然公園年間利用者数	730 万人 (H24)	→	800 万人
若手狩猟者免許保有者数	155 人	→	300 人
水素供給1万整備数	—	→	4 箇所 (H32)
新電力会社設置数	—	→	3 社 (H30)
メタンハイドレート研究者・技術者育成累計数	—	→	16 人

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む～鳥取+住む～

<基本目標>

合計特殊出生率▶1.74 (H31)

未来人材育成奨学金助成者数▶600人(4年間)

ふれあい共生ホーム設置数▶全19市町村で65箇所



出会い・子育て

若者の出会い、結婚の希望を叶える

- 1対1の出会いの場“とっとり出会いサポートセンター”によるマッチング支援
- 企業・団体等と協働した出会いの場づくりなど、若者の出会いや交流機会の拡大

安心の出産・子育てを応援する

- 市町村が行う「子育て世代包括支援センター」(とっとり版ネウボラ)の整備支援
- 市町村と連携した教育費・医療費等の子育て世代への経済的負担軽減
- 住民ニーズに基づいて行う夜間・休日保育及び一時預かり事業や病児・病後児保育などの拡充支援

- 放課後児童クラブや放課後子供教室の整備・拡充
- 年度途中の待機児童解消に向けた保育人材確保の推進

地域で子育て世代を支える

- 産前・産後ママの心と体のサポート、子育て世代が気軽に立ち寄れる子育てコミュニティカフェの設置
- 低年齢児の家庭内保育の取組支援
- 三世帯同居・近居する祖父母や地域住民が地域全体で子育てを支援

子育て・介護など、家庭と仕事が両立できる環境づくり

- 家庭と仕事が両立できる職場環境づくりの推進
- 在宅勤務・テレワーク制度など、多様で柔軟な働き方の推進
- 鳥取県家庭教育推進協力企業と協定を締結し、家庭教育の充実に向けた職場環境づくりを推進
- 男性が育児休業、介護休業等を取得しやすい環境づくりの推進、普及啓発の充実

<主なKPI>

目標指標	(H26) → (H31)
とっとり出会いサポートセンターの成婚数	— → 80組
えんとりーによるお引合せ成立組数※	332組 (H29) → 700組 (H30+H31)
子育て世代包括支援センター整備数	2市町村 → 全市町村
年度中途の保育所等の待機児童数	89人 → 解消を目指す
子どもの貧困対策としての子どもの居場所の数	3箇所 (H27) → 30箇所
学校支援ボランティア数	6,625人 → 9,000人
男性の育児休業取得率	3.1% (H23) → 15% (H30)

(備考) ※は平成30年度改訂において新設したものの

人財とっとり

未来を拓く人づくり

- 主体的・対話的で深い学びの実践、ICT(情報通信技術)活用教育、グローバル化に対応した英語教育の推進など子どもたちの学びの質の向上
- 地元企業等と連携したふるさと教育の推進など、「ふるさと鳥取」に愛着と誇りをもった人材の育成
- 放課後や土曜日を活用した学習支援など地域との協力による学習環境充実の取組を支援

地域を支える人財の育成

- 県内就職する大学生への奨学金の返還支援や地元企業でのインターンシップの拡充、学生・生徒への魅力発信など人材確保と若者の地元就職、IJUターンの促進
- 企業及び産業界と連携したキャリア教育の推進
- 介護人材のすそ野を広げる取組のほか離職防止・定着促進を図る職場環境、処遇改善の取組など総合的な介護人材対策の実施
- IJUターン者、女性就業者、定年帰農者、他産業からの参入など、農林水産業における多様な担い手の育成・参入

グローバルな高度人材の育成

- 医療機器、自動車、航空機等の成長3分野等で活躍できるグローバルな高度技能者の育成
- 世界の学生・研究者が集まる大学等の高等教育機関と協働した世界トップの研究・人材育成
- 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+(プラス))などに参加し、県内高等教育機関や産業界と連携して、地域活性化につながる人材を育成

「顔の見えるネットワーク」を活かした地域づくり

- ボランティア・地域づくり・NPO活動を総合的に支援する「とっとり県民活動活性化センター」の機能強化による、活動主体の支援と協働の取組を促進
- 専門知識や技能を生かした社会貢献活動を行う「社会人ボランティア人材」(プロボノ)の発掘・養成

女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり

- 女性にとって暮らしやすい魅力ある地域づくりの推進
- イクボス・ファミボスの養成など、育児・介護と仕事との両立を推進
- 女性ならではの感性や視点を生かした商品づくりやサービス提供の推進
- 健康マイレージ事業や介護予防体操、認知症予防事業の推進による高齢者の健康寿命の延伸
- 高齢者の豊富な経験や技能を活かした人材バンクなど、高齢者の活躍の場・仕組みづくりの推進
- 就労系障害福祉サービス事業所の受注増に向けた体制整備
- 障がい者の就職率向上、雇用促進、離職防止の取組推進
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者芸術の祭典の開催による芸術・文化活動の振興

<主なKPI>

目標指標	(H26) → (H31)
高校卒業後の進路決定率	98.4% → 100%
県内大学生の県内就職率	34.2% → 44.3%
県外大学進学者の県内就職率 (県出身者が多い大学)	29.5% → 40%
県内介護職員数	10,873人 → 11,220人 (H27)
グローバル高度技能者の育成人数	(H27~H30 累計) 480人
男女共同参画推進企業のうちイクボス宣言企業率	— → 80%
障がい者就業者数	2,545人 → 3,600人超

支え愛

鳥取ならではの「防災文化づくり」

- 多機能コミュニティ拠点(小さな拠点)、ふれあい共生ホームなどの加速的全県展開
- 支え愛マップづくりなどを通じた災害時の助け合いや多様な主体が協働して取り組む災害時支え愛活動の促進
- 地域の防災リーダーや避難所運営リーダーの養成、スキルアップ
- 支え愛避難所の設置促進
- 障がい者や高齢者等に配慮した避難情報の伝達や避難所の生活環境整備



支え愛マップづくりの様子

人と人の絆を力に安心の暮らしをつくる

- 人と人の強い絆を力に地域づくりを進める「支え愛運動」の展開
- 企業の販売促進とNPO等による社会課題解決とを結ぶ「寄付付き商品」の開発・普及支援
- あいサポート運動の展開、あいサポート条例(愛称)に基づく県民運動の推進

中山間地域の安心と元気をつくる

- 中山間地域や医師不在地域における、巡回診療や通院のための交通サービスを含む医療提供体制の存続
- 循環型バス、デマンド型バス、乗合タクシーの導入等地域ニーズに則した多様な交通サービスの展開
- ユニバーサルデザインタクシーを活かした高齢者や障がい者等が移動しやすい交通環境の整備
- 見守りシステムの構築、民間企業と連携した移動販売やコミュニティ拠点(小さな拠点)への店舗機能付加などによる買い物支援をはじめとした生活サービスの提供

<主なKPI>

目標指標	(H26) → (H31)
とっとり支え愛活動継続取組数	175件 → 190件
支え愛マップづくり取組自治会数	341箇所 → 600箇所
自主防災組織率	78.8% → 90%
あいサポーター数	246,015人 → 410,000人
「小さな拠点」の数	— → 30箇所
買い物福祉サービスを実施する地域数	1地域 → 4地域

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ～鳥取+ rhythm～

<基本目標>

┃JUターンの受入者数▶8,000人(5年間)

正規雇用創出数▶10,000人(4年間)

転出超過を5年かけて半減させ、その5年後に転入転出数を均衡



移住・定住

「移り住みたい」鳥取県

- 元気な高齢者が活躍するCCRC(生涯活躍のまち)の構築
- 住まい・仕事・教育・子育てなどさまざまな希望に対応できる魅力的な移住環境づくりを強化
- メールマガジンを通じた移住定住施策、産業雇用施策の一体的情報提供等、移住につながる情報発信の強化
- 移住者のための空き家マッチングシステムを構築
- 技術人材バンク等によるプロフェッショナル人材の移住促進
- 国内外のアーティスト等が移り住み、創作活動を行う「アートピアとっとり」の創造
- 起業などのチャレンジ機会の創出や関係人口の拡大による若者の移住促進
- 都市部の女性への情報発信など、都市部からの女性の移住受入れの取組を強化

「住み続けたい」・「帰りたい」鳥取県

- 県内の中・高校生へ鳥取県の魅力を発信し、若者の定住を促進
- 県外学生に対する県内企業の情報提供の強化、インターンシップ等への参加促進
- 県内学生のネットワーク化支援など、若者の郷土愛を育む取組支援

<主なKPI>

目標指標	(H26) →	(H31)
CCRC(生涯活躍のまち)地区数	—	→ 3地区
お試し住宅等の棟数	21棟	→ 30棟
技術人材バンクによるマッチング件数	22件	→ 500件 (H27~H31)
10代・20代の転出超過数	1,259人	→ 600人
とっとり仕事・定住バンク登録者数	4,000人	→ 8,000人
県外学生の県内企業へのインターンシップ参加者数	10人 (H27)	→ 200人

働く場

鳥取県産業の特徴を活かした正規雇用の場の拡大

- 正規雇用1万人チャレンジの断行
工業団地造成、遊休施設改修、企業の設備投資等への支援、経営革新に取り組む企業に対する成長段階や経営戦略に応じた総合的支援、人材戦略マネージャーの配置等による観光ビジネスなどサービス産業の更なる成長産業化
- 地域経済を牽引する新たな成長産業の立地、本社機能等移転、中山間地への企業誘致など戦略的な企業立地施策の推進
- 起業コンテスト、クラウドファンディングなど若者等の創業促進に向けた環境整備
- 後継者育成、マッチング支援等による中小企業の事業承継支援の促進

非正規から正規雇用への転換による雇用の質の改善

- 正規雇用転換促進助成金等による正社員転換の取組促進

戦略的な産業人材の育成・確保

- 一元的な情報提供環境の整備、キャリアコンサルティング等雇用のミスマッチ解消に向けた取組の推進
- 県立ハローワークによる産業施策・雇用施策・移住施策と一体となった求職者と企業の効果的なマッチング支援
- 職業能力開発総合大学校基盤整備センター高度訓練開発室と連携した高度人材育成



県立ハローワーク開設の様子
(H29.7月)

新たな成長産業の創出と伝統産業の育成

- 医工連携による医療機器開発など大学等の研究シーズ事業化支援
- バイオ・創薬ビジネス、最先端ICTやIoT、ビッグデータ、AI、ロボット、先進運転支援デバイス等を活用した新商品や新システム・サービスの開発支援※
- 和紙、緋、陶磁器、地酒など伝統的産業の販路拡大や商品開発、後継者育成等の支援

国内外への商圏拡大に向けた支援

- 効果的な情報収集、商談機会の確保、製品開発支援等を通じた総合的な商圏拡大に向けた取組支援
- 産業競争力の強化を目的とした「境港流通プラットフォーム」の取組促進
- 国際経済変動による影響を最小限に抑えるための県内企業への支援

自らの能力が発揮できる働き方改革の実現

- 在宅勤務・テレワーク制度など、多様で柔軟な働き方の推進〔再掲〕
- 再就職を希望する女性の就業支援、安定雇用に繋げるための職業訓練による技術習得の取組促進
- イクボス・ファミボスの養成など、育児・介護と仕事との両立を推進〔再掲〕

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
経営革新認定企業数	(H27～H30 累計) 1,200 社		
地域経済牽引事業計画の認定件数※	(H30～H31 年度) 12 件		
事業承継の成約件数	(H29～H31 累計) 30 件		
正規雇用の転換者数	(H27～H30 累計) 1,000 人		
医療機器産業への新規参入企業数	10 社	→	40 社 (H27～31)
北東アジア地域への新規展開企業数	7 社	→	33 社 (H27～31)
国際コンテナ取扱量	23,139 TEU	→	32,000 TEU
企業子宝率	1.31	→	1.45

(備考) ※は平成 30 年度改訂において新設したものと

まちづくり

暮らしやすく、元気になるまちづくり

- 鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港の「空の駅」化など、交通の結節点を拠点とする地域のにぎわいづくり
- 道の駅等を活用して、地域交流拠点と医療・福祉、行政機能などの生活機能を連携・ネットワーク化する取組(コンパクトビレッジなど)の支援
- 複数集落や地域住民等の連携により、生活に欠かせないサービス等を提供する「小さな拠点」づくりの推進
- まちなかの活性化、コミュニティ拠点づくり等、若者が集う場所づくりに向けた取組支援
- 老朽危険空き家の除却等、市町村と連携した地域の安全と遊休地の活用促進
- まちのリノベーションに取り組む民間団体への支援による駅前や商店街などの新たな魅力の創出
- 2020 年東京パラリンピックに向けた障がい者スポーツの拠点づくり



▲「ユニバーサルデザイン(UD)タクシー」導入による誰もが利用しやすい地域交通モデルの構築

アート・文化による地域づくり

- 複数の作家等が居住し活気ある創作活動が生まれる「工芸・アート村」の創出
- 誰もが芸術文化に親しむ拠点の一つとなる県立美術館の整備
- 文化芸術活動を支える人材の育成や鑑賞機会の提供などアート・文化によるまちづくり
- 地域資源である本県ゆかりの文化芸術分野の先人などの魅力発信、伝統芸能活動・行事等を含むツアー実施など地域内外との交流の推進

快適な通信環境で便利・安心な暮らし

- 医療、産業、防災分野など県民生活の基盤となる超高速情報通信網の利用環境整備
- IT・コンテンツ関連産業等の里山オフィス、中山間地域コミュニティビジネス等の開設促進
- 災害時や観光客の通信手段として必要な超高速モバイル通信電波(4G)の利用可能エリアの拡大

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
「小さな拠点」の数〔再掲〕	—	→	30 箇所
障がい者スポーツ実施率	32.7%	→	40%
民間宿泊施設のバリアフリー対応数	43 施設	→	70 施設
「工芸・アート村」の創出数	—	→	3 地区
超高速モバイル通信電波の不感エリア箇所の解消率	—	→	主要道路 99%

鳥取県の特徴的な指標

豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

- **環境にやさしい地域**
第1位北海道、第2位青森県、第3位長野県、第4位秋田県、第5位石川県…第7位鳥取県
(地域ブランド調査2017(ブランド総合研究所))
- **海・山・川・湖などの自然が豊か(出身者が誇れる県出身地別ランキング)**
第1位和歌山県、第2位島根県、第3位長野県、第4位宮崎県、第5位富山県…第7位鳥取県
(地域ブランド調査2017(ブランド総合研究所))
- **鳥取県と言われて連想するもの** 第1位 鳥取砂丘(79.9%)
- **鳥取県に関して魅力的だと思うもの**
第1位 自然環境(地形・景観) 第2位 食べ物 第3位 自然環境(気候)
(鳥取県に関するイメージ調査(平成30年3月 鳥取県広報課))
- **鳥取県を代表する主要農林水産物**(食のみやこ鳥取県を形成する豊かな農林水産業)
二十世紀梨 全国第1位(平成29年度 日本園芸農業協同組合統計)
らっきょう 全国第2位(平成26年度 農林水産省 地域特産野菜の生産状況調査)
べにずわいがに 全国第1位(農林水産省「2016年産地水産物流通調査」)
ずわいがに 全国第3位(農林水産省「平成29年漁業・養殖業生産統計」)
はたはた 全国第2位(農林水産省「平成29年漁業・養殖業生産統計」)
- **再生可能エネルギーによる電力自給率**
鳥取県35.0%(全国14.5%)平成28年度実績
(鳥取県環境立県推進課調べ、資源エネルギー庁「平成28年度電力調査統計」)

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

- **待機児童数** 全国第1位(ゼロ)(厚生労働省調べ2017)
- **小児科専門医数** 全国第1位(厚生労働省「平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査」)
- **産科・婦人科専門医数** 全国第5位(厚生労働省「平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査」)
- **ボランティア活動の年間行動者率** 全国第9位(総務省「平成28年社会生活基本調査」)
- **3世代同居の世帯割合** 全国第10位(総務省「平成27年国勢調査」)
- **子育てがしやすい環境(出身者が誇れる県出身地別ランキング)**
第1位鳥取県、第2位福井県、第3位宮崎県、第4位富山県、第5位福岡県
(地域ブランド調査2017(ブランド総合研究所))
- **医療や福祉が充実している(出身者が誇れる県出身地別ランキング)**
第1位東京都、第2位福岡県、第3位神奈川県、第4位徳島県、第5位兵庫県、
…第9位鳥取県(地域ブランド調査2017(ブランド総合研究所))

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

- **通学・通勤に要する時間(行動者平均時間)** 全国第1位(総務省「平成28年社会生活基本調査」)
- **都道府県幸福度ランキング(総合)** 全国第14位(日本総合研究所調べ2018)
生活分野 第2位、教育分野 第8位、仕事分野 第14位